

平成 24 年度 学校評価報告書

I 学校関係者評価組織の構成

- ・ 業界関係者 2名
社会福祉法人 理事/施設長（実習先/就職企業）
業界企業 専務取締役
- ・ 地域住民（公益活動を行う団体の代表） 2名
- ・ 学校運営に関する専門家（財務の専門家） 1名

II 学校関係者評価方法

- ・ 学校関係者評価委員会議
- ・ 学校関係者評価委員へのヒアリング

III 学校関係者評価結果

【重点的に取り組むことが必要な目標】

- 1 生徒一人ひとりが夢と希望が持てる教育環境をつくる。
- 2 基礎学力の再構築を目指したカリキュラムを導入する。
- 3 新学科、コースの導入を目指す。

【評価項目の取り組み状況と学校関係者評価】

教育理念

服飾ならびに福祉に関する教育をとおして、「平等で文化的な社会・弱者にやさしい社会の創造」に貢献しうる人材の育成をめざす。

<学校関係者評価>

- 1 教育理念が教職員はもとより学外にも一層浸透するように務める必要がある。
- 2 生徒・保護者のニーズに応じた新たな分野の設置可能性を探る必要が

ある。

学校運営

理事長・校長のリーダーシップのもと、運営組織図による役割を滞りなく遂行している。

<学校関係者評価>

- 1 運営組織の過度な縦割りによる硬直化が進行していないかのチェックを行う必要がある。
- 2 教職員一人ひとりへヒアリングを行い、運営組織の問題の顕在化に務める必要がある。

教育活動

- 1 ファッション科
ファッションデザイン、パターンメイキング、ファッションソーイング、ファッション販売等の科目を設置し、専門職から販売職まで幅広い職種に対応できるようカリキュラムを編成している。
また、アパレル業界の長引く不況によりファッション科の就職上位今日は依然厳しいが、パターンメイキング技術検定をはじめ、各種資格取得に力を注いでいる。
- 2 福祉科
基礎科目を中心にカリキュラム編成し、演習を通して応用技術の習得を目指している。また現場実習を通してより実践的な技術の習得を目指す。
- 3 その他
昨今の生徒の要望を汲み入れ、あらたな学科、コースの設置を検討する。

<学校関係者評価>

- 1 ファッション科
アパレル業界の長引く不況と業界が求める人材のギャップが与える影響から現状のカリキュラムの見直しと、求人企業の更なる開拓を行うよう務める必要がある。

2 福祉科

毎年、就職率は高いものの、高齢者の介護には高度な専門知識と技術が必要である。福祉業界における生徒の職業意識のさらなる向上が必要である。

生徒支援

毎年、公共職業安定所よりジョブサポーターをお招きし、就職活動支援講座を開いている。

同時に専門のスクールカウンセラーを常駐し、就職に関する悩みからプライベートな悩みまで生徒一人ひとりがいつでも気軽に相談できる環境を整えている。また、保護者への電話連絡や家庭訪問を状況に応じてこまめに行い、家庭との連携に務めている。

<学校関係者評価>

- 1 生徒への支援は生徒はもとより保護者の信頼と支援が欠かせない。引き続き、家庭との連携を一層強め保護者の信頼を確固たるものとするよう務めていきたい。
- 2 いじめの実態把握に努め、迅速な対応が必要である。

教育環境

ヘアメイク実習室、ファッション販売演習室、介護実習室など高等専修学校の特色に応じた教育上必要な設備の整備に務めている。また、教職員の緊急連絡網を整備し防災に対する体制を整えている。その他、教育備品のリニューアルを検討している。

<学校関係者評価>

教育設備が十分効果的に活用されているか、また整備は怠りなく行い、古い備品の入れ替えを検討する必要がある。

生徒の募集と受け入れ

- 1 生徒の出席状況、就職実績、資格取得実績の報告を兼ねて中学校への定期的な訪問を行っている。
- 2 オープンキャンパスの日程を増やし、内容の更なる充実を目指す。

<学校関係者評価>

- 1 教育理念・目的・育成人材像を明確に伝え、理解を得るよう務める。
- 2 生徒・保護者の体験学習会の積極的な参加の増進に努める必要がある。
- 3 生徒募集担当専属職員の増員が必要である。